# mydoor OSAKAの市町村展開

# 【大阪府】

大阪府 スマートシティ戦略部

# mydoor OSAKAの3つのコンセプトと機能

- mydoor OSAKAは、府域における行政サービスの利用を、より便利にするための広域総合ポータル
- 利用者がID登録をすることで、パーソナライズされたサービスが届き、ワンストップ・ワンスオンリーの手続き が、24時間365日可能になる。

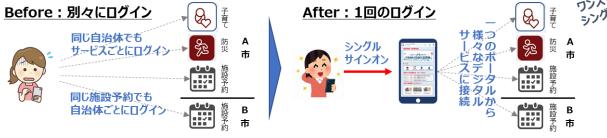
#### コンセプト

- 1) 行政からサービスが届き、
  - 2) 一つの窓口で繋がり、
- 3) 24時間いつでも使える、 広域総合ポータル



スマホ版の画面イメージ





3) 24時間いつでも使える → 24時間365日、スマホやパソコンから、オンラインで手続きができる



給付金やワクチン接種では窓口の混雑が発生





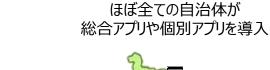


マイナンバーカードの公的個人認証機能により、本人確認書類の提出が不要

# 全ての府民が、ワンストップで、便利なデジタルサービスを使える未来へ

# これまで

一部の自治体が個別の サービスアプリを導入



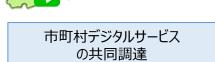
現在

## めざす未来

一つのポータルで、全市町村の 多様なサービスをワンストップで









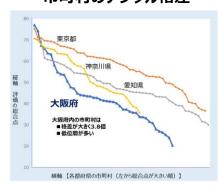
mydoor OSAKA の市町村展開

#### 市町村のデジタル格差

大阪の デジタル 格差 (特徴)

大阪府

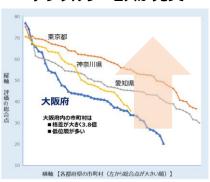
の施策



デジタル格差を底上げ



デジタルサービスが充実



# 複数の自治体から多様な情報が届く(探さない広報の実現)

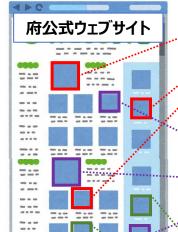
これまで、住民自身が散在する自治体情報を探していたが(なかなか見つからなかったが)、 mydoor OSAKAを利用すれば、それぞれの自治体から必要な情報がプッシュ配信される。

# 大阪府の情報

なかなか 見つからない



情報が分散



大阪府では"ピピっとネット" の情報からセグメント配信を 予定

# mydoor OSAKA

## 子育て 中の人



- 府営公園のイベント情報
- □ 市立公園のイベント情報
- 1 ワクチン接種の案内通知
- まいど子でもカード情報
- □ 子育て応援給付金の案内

#### 文化 スポーツに 関心ある人

必要な情報を選



- □市民フィスティバル情報
- 大阪ミュージアム情報
- □ 市立図書館情報
- 大阪マラソン情報
- □市主催の歴史講座情報

#### 高齢の人



- □ 高齢者優待サービス情報
- □ コロナワクチン接種の情報
- □ シルバー人材情報
- 認知症啓発イベントの情報

#### 【凡例】

- ■大阪府の情報
- □市町村の情報

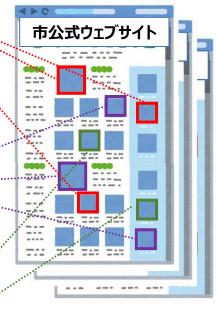
必要な情報を選

ツシユ配信

# 市町村の情報



なかなか 見つからない



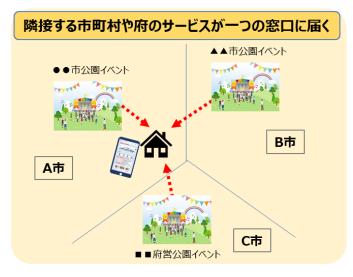
隣接する自治体の情報(近くの 公園イベントや図書館情報等) もプッシュ配信で直接届く

情報が分散

# 主体の違う行政サービスを一つのポータルからアクセス

# 市町村域を超えて ワンポータルから手続きできる ワンストップサービス

# 地 域 の 情 報



# 施設予約



# <先行事例(奈良県施設予約システム)>



市町村を選ぶ

目的を選ぶ



施設を選ぶ

ランニ





	9:00	10:00	11:00	12:00			
フンド(全面)	×						
ウンド(半面A)			×				
ウンド(半面B)	×						
ングトラック	0	0	0	0			
3	0						

00

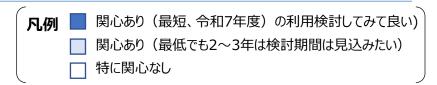
2024年1月26日(金) 14:00

15:00

# 市町村のアンケート結果

mydoor OSAKAに対する関心度を市町村にアンケート(2023年12月)した結果は次のとおり。

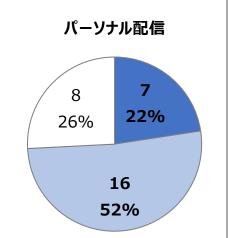
※回答回収中であり、現時点で回答のあった31団体で集計。



## パーソナル配信

健診の案内など、個々人に対する情報配信

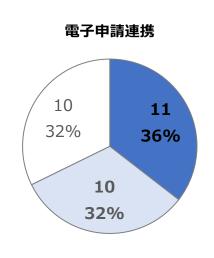




## 電子申請連携

導入済の電子申請システムと シングルサインオンで接続



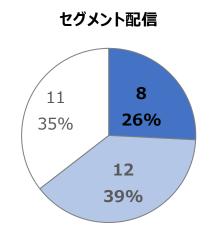


# セグメント配信

子育て層など一定の属性に まとめて情報配信



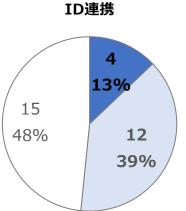




# ID連携

導入済みの各種アプリとID 連携





# 目標設定とロードマップ

#### 1) 広域総合ポータルとしての展開と目標設定

- より多くの府民・市民に使っていただける大阪府広域の総合ポータルをめざし、府内市町村のニーズ把握に務め、市町村が参画しやすいスキームを検討していく。
- 実装にあたっては、費用対効果を見定めながら、令和9年度末を一つの評価時期として 目標を設定し、各年度において目標達成度を検証する。

#### <目標例>

- 参画市町村数
- ユーザー数 など
- ※ 目標値については、 市町村との協議を 踏まえて今後設定する

#### 2) ロードマップ

年度	令和5 2023	令和 6 2024	令和 7 2025	令和 8 2026	令和 9 2027	令和10~ 2028~
府庁 (全体) サービス展開		電子申請システムとの連 ■CMSと連携した <sup>†</sup> ■AI総合相談 ■府庁デジタルサー	セグメント配信	タシステム等		令和9年度までの 利用実態を踏まえ、
市町村サービス展開	•	堺市サービスの実装(オ				持続可能な運営 スキームへ移行 (令和9年度までの スキーム継続含む)
目標管理		"住民に使われるポータル するため、着実な目標管		検証	検証	